

【原 著】

学校全体における積極的行動介入および支援の動向と実際
—イリノイ州 District15 公立中学校における取り組みを中心に—

枝廣 和憲 松山 康成

Current Trends and Practices in School-Wide Positive Behavioral Interventions and Supports
Reflecting on the Practices in an Illinois District15 Public Junior High School

Kazunori EDAHIRO, Yasunari MATSUYAMA

2015

岡山大学教師教育開発センター紀要 第5号 別冊

Reprinted from Bulletin of Center for Teacher Education
and Development, Okayama University, Vol.5, March 2015

原 著

学校全体における積極的行動介入および支援の動向と実際

—イリノイ州 District15 公立中学校における取り組みを中心に—

枝廣 和憲*¹ 松山 康成*²

近年、生徒指導・教育相談において、「包括的な学校生徒指導・教育相談アプローチ (Comprehensive School Counseling and Guidance Approach; 以下, CSCGA)」が注目されている。その一環として、「学校全体における積極的行動介入および支援 (School-Wide Positive Behavioral Interventions and Supports, ; 以下, SWPBIS)」があげられる。しかしながら, School-Wide すなわち, 学校全体として PBIS に着目した臨床実践報告は少ない。そこで本稿では, School-Wide すなわち, 学校全体として PBIS (SWPBIS) について, 先駆的に実践しているアメリカイリノイ州の公立中学校 (District15) の取り組みに着目し, SWPBIS の動向と実際について報告した。そして, 日本における生徒指導および教育相談における, SWPBIS の展開に向けた検討材料を示唆した。

キーワード: 学校全体における積極的行動介入および支援 (School-Wide Positive Behavioral Interventions and Supports, 包括的な学校生徒指導・教育相談アプローチ (Comprehensive School Counseling and Guidance Approach), 中等教育, 生徒指導, 教育相談

※1 岡山大学 学生支援センター

※2 大阪府寝屋川市立東小学校

I はじめに

近年, 学校教育における生徒指導・教育相談において、「包括的な学校生徒指導・教育相談アプローチ (Comprehensive School Counseling and Guidance Approach; 以下, CSCGA)」が注目されている。例えば, 小玉・中村・高橋・金山・栗原 (2014) では, 生徒指導先進地域の実践比較から, CSCGA の重要性を指摘している。また, 長江・山崎・中村・枝廣・エリクソン・栗原 (2013) によれば, オーストラリア Victoria 州においては, A Whole School Approach for Creating Safe & Supportive School Communities という形で CSCGA が提供され, アメリカにおいては, 全米スクールカウンセラー協会 (ASCA) が CSCGA を推奨しているように, 海外の先進的地域においては, CSCGA は一般的ともいえる。CSCGA に代表されるように, 不登校対策など, ある一つの問題事象を対象として, 対症療法的に単一のアプローチで取り組むのとは異なり, 多様で複数の問題事象に対して, 学校全体として, 複数のアプローチを包括して取り組む必要性がある。

我が国における複数のアプローチの必要性に対し

て石隈 (1999) は, 援助ニーズのある児童・生徒の学習面, 心理・社会面, 進路面, 健康面における問題状況の解決を目指し, 学校心理士や臨床心理士といった専門家と教員, 保護者が連携して支援を行うチーム体制で問題に対応していく必要性を指摘しており, 1 次的, 2 次的, 3 次的と援助ニーズの大きさに分けて援助を行う 3 段階の心理的援助サービスを提唱している。

また栗原 (2013) は, 子どもの支援ニーズに応じて 3 段階に支援を分けて児童・生徒にアプローチする「マルチレベルアプローチシステム」を開発し, ピア・サポートや SEL (Social and Emotional Learning), 協同学習などの心理教育的支援を用いた実践を報告している。

このような考えに基づく支援は, 文部科学省 (2010) の「生徒指導提要」でも触れられ, 集団指導と個別指導を進める指導原理として, 「成長を促す指導 (第 1 次的支援)」, 「予防的な指導 (第 2 次的支援)」, 「課題解決的な指導 (第 3 次的支援)」の必要性が示されている。

近年, その一環として「学校全体における積極的

動介入および支援 (School-Wide Positive Behavioral Interventions and Supports : 以下, SWPBIS)」が注目されている。日本においては、応用行動分析 (Applied Behavior Analysis) における「積極的行動支援(もしくは、肯定的行動支援, Positive Behavioral Sports : 以下, PBS)」としてよく知られている。PBSとは、発達障がい児者の行動問題の解決に向けた支援であり、個別支援に焦点を当てたものを Individual Positive Behavioral Sports (以下, IPBS) と呼ぶ (平澤・小笠原, 2010)。これに対して、学校における行動問題の予防に向けた組織的アプローチを, SWPBIS もしくは, School-Wide Positive Behavioral Supports (以下, SWPBS: Horner, Sugai, Todd, & Lewis-Palmer, 2005) と呼ぶ。SWPBIS は問題行動の減少, 子ども本人の適応行動スキルの増加, そして子どもたちの QOL (Quality of Life) の向上を目指したもので, 2002 年の「No Child Left Behind (落ちこぼれ防止法)」の施行以来, 児童・生徒の行動面への支援として広く全米で普及しつつある生徒指導システムの一つである (バーンズ, 2013)。PBIS についての詳細な説明は, 長江・山崎ら (2013) を参照されたい。日本においては, PBS あるいは, IPBS の臨床実践は, 報告されている (例えば, 平澤・小笠原・広野・田熊・高橋, 2010, 平澤・小笠原・原田・福元・野口, 2011) が, School-Wide すなわち, 学校全体として PBIS に着目した臨床実践報告は少ない。

そこで本稿では, School-Wide すなわち, 学校全体として PBIS (SWPBIS) について, アメリカイリノイ州の公立中学校 (District15) の概要を整理し, 日本における生徒指導および教育相談における, SWPBIS の開発に向けた示唆を探りたい。

II District15 における SWPBIS の実際と動向

1 District15 の概要

District15 は, イリノイ州で 3 番目に大きな規模の学校区であり, 在籍児童生徒数は約 12,000 人である。15 小学校, 4 中学校のすべてで SWPBIS が導入されており, NCLB 法下における教育改革に高い評価を得ている。連邦政府が定める NCLB 法アワードに 9 校が選ばれている。

今回の視察では District15 にある 4 中学校のうち, Plum Grove Jr. High School (以下, Plum Grove 中学校), Carl Sandburg Jr. High

School (以下, Carl Sandburg 中学校), Winston Campus Jr. High School (以下, Winston Campus 中学校) の 3 校を視察することができた。これらの学校での SWPBIS を第 1 層支援 (Primary Prevention), 第 2 層支援 (Secondary Prevention), 第 3 層支援 (Tertiary Prevention) の 3 つの観点 (図 1) からまとめる。

2 第 1 層支援 (Primary Prevention)

(1) 学校内における行動規範の般化

第 1 層支援では主に学校全体での行動規範の般化の取り組みとして, 行動チャートを用いた取り組みがある。SWPBIS に取り組む学校では, 学校に在籍する全生徒に学校内で望ましい行動を規範として定着させるために, 望ましい行動をチャートとして整理し, 教室, トイレ, 廊下など, それぞれの場所や場面において求められる行動が観点別にチャートに示され, 学校内のあらゆるところに掲示されている。Plum Grove 中学校では行動チャートを学校内に 50 箇所以上掲示しており, 生徒の行動においてもチャートに基づいた行動規範が定着している様子を見ることができた。この行動チャートを生徒にわかりやすく明確なものにするのが, 望ましい行動を整理するための観点である。Carl Sandburg 中学校では【Be Respectful (敬意を持つ・尊重する)】, 【Be Responsible (責任を持つ)】, 【Be Safe (安全を保つ)】の 3 つの観点に対して望ましい行動が示されていた (図 2)。この行動チャートとは, 学校内ではいけない行動を示すのではなく, 場所・場面のそれぞれで望ましい行動を定着させることを目標に定められる。行動チャートは教職員による複数回の会議で策定される。Carl Sandburg 中学校では教職員による

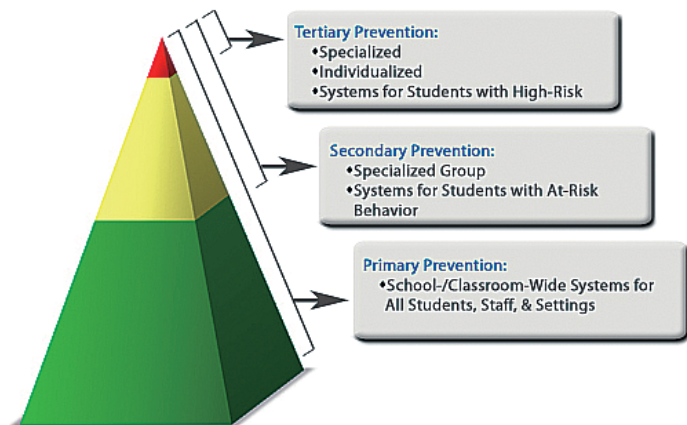


図 1 SWPBIS における 3 層構造

策定を経た後、PTA 代表者の承認を得て、そして学校内で掲示されていた。行動チャートは学校における SWPBIS の基盤的な要素を含んでおり、生徒の実態に適するかが重要である。よって行動チャートは各校で望ましい行動が異なり、各校で毎年改定が行われるようである。第 1 層支援におけるこの行動チャートを用いた行動規範の般化が、第 2 次支援、第 3 次支援の対象生徒を減少させる鍵となる。



図2 校内に掲示されている行動チャート

(2) 学校内における行動規範の強化と維持

教職員は、望ましい行動を行った生徒を称賛するためのチケット（以下、トークン）を持っており、生徒が学校内で望ましい行動をしている場面では、そのトークンが教職員より生徒に対して配布される。

長江・山崎ら（2013）は、小学校におけるトークンシステムでは、ごほうびシステムなどを行うなどの取り組みがあることを示しているが、今回視察した3つの中学校では、基本的にごほうびシステムのようなチケットの蓄積による行動規範の強化・維持を促す取り組みは行われていなかった。だが、Winston Campus 中学校では称賛チケットを1ドルとして価値付けする School CASH を疑似通貨として学校内で活用している。生徒はこの School CASH を貯め、鉛筆を忘れた際には3ドルで先生に借りられる、といった要領でトークンを使用していた。

3 第2層支援（Secondary Prevention）

(1) 不適切行動指導

各中学校では、学校場面で起こる不適切な行動による問題に対して、問題のレベルを分類し、それぞれの問題に対して学校及び教職員はどのように対応するかを明文化したチャートが作成されていた。Carl Sandburg 中学校では問題行動を3つに分けて

おり（表1）、それぞれの問題レベルに対して、どのように指導するかを明文化した指導チャートが教職員によって策定されていた（表3, 4, 5）。度重なる MINOR 指導は第2層支援の対象となる。

表1 不適切行動の3段階

- ・MINOR 指導（第1層支援）
遅刻や宿題の未提出、机への落書きなど軽度な問題事象
- ・MEJOR-level1 指導（第2層支援）
10分以上の遅刻、友人・教職員に対する暴言、いじめ、いやがらせなどの問題
- ・MEJOR-level2 指導（第3層支援）
飲酒・薬物の使用、ギャング表現（タトゥーやネイル、想起させるような服装など）、度重なる不登校など

遅刻や宿題の未提出、机への落書きなどの MINOR 指導では、MINOR 指導保護者通知シート（図3）が使用される。このシートは MINOR 指導を生徒に行った際、保護者にその内容を通知するために活用される。シートは3枚綴りになっており、学校保存用、家庭との連絡用、家庭保存用と使用される。このシートを用いて問題行動の指導を保護者・家庭と共有し、問題行動の改善に取り組んでいた。

PBIS Minor Referral Form

Student Name: _____
Date: _____
Referring Staff: _____
Location: _____
Homeroom Teacher: _____

Was not or did not (circle what applies):


- Respectful
- Responsible
- Keep Hands and Feet to Self
- Follow Directions
- There and Ready

Explanation: (Optional):

Parent Signature: _____
(Please sign and return the following day)

__Teacher(white), __Office(pink), __Home(yellow)


図3 MINOR 指導保護者通知シート



WARRIOR CONNECTION- DAILY PROGRESS REPORT (DPR)

NAME: _____ DATE: ___/___/___ CHECK OUT w/: _____

DAILY GOAL: 38/48= 80%



PERIOD	1st	2nd	3rd	4 th /5 th	6th	7th	8th	9th	TOTAL POINTS
RESPECT FOR SELF/OTHERS	2 1 0	2 1 0	2 1 0	2 1 0	2 1 0	2 1 0	2 1 0	2 1 0	___/16
RESPECT FOR SCHOOL ENVIRONMENT	2 1 0	2 1 0	2 1 0	2 1 0	2 1 0	2 1 0	2 1 0	2 1 0	___/16
RESPECT FOR LEARNING	2 1 0	2 1 0	2 1 0	2 1 0	2 1 0	2 1 0	2 1 0	2 1 0	___/16
TOTAL POINTS AND TEACHER SIGNATURE									___/48

Teachers- Please indicate 2 for Yes, 1 for partly followed guidelines or 0 if the student did not meet the goal.

*** If found, please return to Mrs. Sierra ***

図4 Winston Campus 中学校で使用されている Daily Progress Report(DPR)

(2) 行動改善支援のためのアセスメント

第2層支援では、Check-in/Check-out (以下、CICO) と呼ばれる機能的行動アセスメントを用いて、行動問題の特定と、その改善に必要な行動支援が行われる。Winston Campus 中学校ではCICOの行動チェックシートとしてDaily Progress Report (DPR) というシートが使用されている(図4)。このシートは、生徒が登校時に校門でスタッフより受けとり(Check-in)、授業中は生徒自身が自分で持っている。毎時間の授業者に提示し、学校で示されている望ましい行動の観点ごとに評定を受ける。そして、下校時に校門のスタッフに渡し、1日のレビューを受ける(Check-out) というものである。各生徒は教員とともに目標点数を決め、達成度をチェックされる。評定は(2・1・0)の3段階となっており、第2層支援の対象となる生徒がすべて同じスケールで評価される。これは全教職員での情報の共有を前提に取り組んでいるからであり、生徒のデータはグラフ化、チャート化される。整理された生徒のデータは教職員で構成される支援チームによって、生徒の行動の特徴、時間や曜日の影響の有無などが討議され、生徒に最適な支援策が検討される。

(3) アセスメントを踏まえた行動支援策

a. 別室指導

Plum Grove 中学校では、通常学級での学習が難し

い生徒のための教室がある。その教室では支援員が在籍し、生徒それぞれの問題に対応した個別のカリキュラムの進行を支援している。個別のカリキュラムでは、スキルトレーニングや映像教材を活用した学習などを少人数で指導し、生徒それぞれの教育的ニーズに対応したカリキュラムを構成することで、学力の保障と問題行動の改善を行っている。

b. 専門指導員による個別支援

問題行動の改善が難しい生徒に対しては、スクールサイキロジストやスクールソーシャルワーカーなどと連携した対応が行われる。これら専門指導員と学校教職員が連携し、生徒の問題行動に対する代替行動、代替スキルの提案、そしてそれを促進するための保護者との連携の在り方を検討する。このように生徒自身の問題に着目するのではなく、教師や保護者、または授業などといった生徒を取り巻く環境の変容を求めることで、行動の改善を進めているのである。

4 第3層支援 (Tertiary Prevention)

第3層支援では犯罪行為などが対象となり、学校だけでの対応は難しくなる。また、子ども本人の問題だけでなく、保護者の影響も受けるため、学校外の専門施設との連携も必要となる。Plum Grove 中学校では緊急の場合を想定し学校内での問題に対応するために、警察官の駐在室があった。何か学校内及

び地域で生徒の問題があった場合は対応できるようになっていた。Carl Sandburg 中学校では、学校として第3層支援の対象となった生徒の実際と支援の在り方を明確にするために、専門教員によって、各授業時間に3度、12段階での評定と具体的な様子を示すコメントで、細やかな機能的行動アセスメントが実施されていた。アセスメントを踏まえて、問題行動に対して丁寧に支援策を立てる。そしてさらにアセスメントをするという手順を繰り返し行う。この手順の明確化と継続が重要なのであろう。

Winston Campus 中学校では小学校も併設しており、小学校と中学校が連携してSWPBISに取り組んでいた。そこでは、行動規範の定着に小学校から取り組むことで、中学校における第3層支援対象の生徒の減少を図っている様を見た。各学年での階層的な支援と小学校から中学校への継続的な支援によって、中学校段階での第2、3層支援の対象数は大きく減少するのであろう。



図5 Plum Grove 中学校にある警察官駐在室

II おわりに

ここまで、SWPBISに関して、アメリカイリノイ州 District15 の公立中学校の取り組みについて概観してきた。本稿では、PBISの実践的な取り組みに焦点を当てることにより、以下にあげる、日本における実践的な示唆を得ることができた。

第一に、日本において、CSCGAを推進するにあたって、学校における問題事象を単一的にとらえるのではなく、第1層支援 (Primary Prevention)、第2層支援 (Secondary Prevention)、第3層支援 (Tertiary Prevention) のように階層的にとらえ、且つ、機能的行動アセスメントを踏まえた、望ましい行動の一般化・強化という速やかな連続性を持つことが、包括的なアプローチを以てSWPBISを実践していくこと

の重要性である。これは、日本の実践と比較すれば、石隈 (1999) の3段階の心理的援助サービスと重なるところがある。しかしながら、石隈 (1999) では、それぞれの援助サービスの具体化には至っておらず、本稿で示した具体的な実践と連動した援助サービスの提供が日本において、急務とされる。

第二に、SWPBISの目標の明文化によって、児童・生徒および教職員両者にとって、指標を共通認識できる点が重要である。本稿で取り上げたSWPBISの実践は、すべての児童・生徒に対して場面や場所に対して適切な行動を学ぶための機会を提供するものである。そして、同時に、問題行動を未然予防するために学校環境を整えるアプローチでもある (平澤・小笠原, 2010)。言い換えると、どの階層に位置する児童・生徒であっても、またどのようなバックグラウンドを持つ教職員であっても、共通認識を持てるユニバーサルかつアクセシブルな環境を設定することを以て、児童・生徒の適切な行動を引き出すと同時に、教職員にとっても一貫した適切な指導・助言 (介入) を引き出すものとなっている。つまり、適切な環境をセッティングすることにより、教職員を含む個人の行動をより適切にしていくことということである。これは、日本の学校においては、学級目標などに置き換えることができるが、抽象的な目標にするのではなく、本稿で取り上げたSWPBISのように、場面設定を明確にし、より具体的かつ簡易な表現の行動指標にすることが望ましいと考えられる。

第三に、児童・生徒に対する指導・助言 (介入) を決定する行動指標のデータ化があげられる。本稿で取り上げたSWPBISの実践では、CICOに代表されるような行動のチェックシートが用意されていた。このシートは児童・生徒が自身で持っており、自分の行動評価を自身の目で確認することができる。また、同時に、これらを複数の教員がチェックし、すべての教職員が共通の介入をできるシステムとなっている。さらに、このデータに基づき、教職員のチームが児童・生徒に対して、アセスメントをし、最善の支援策を決定する。つまり、エビデンスに基づいた支援を個々の児童・生徒に実施するということである。日本の“伝統的な”生徒指導では、なじみが少ないと考えられるが、学習指導と同様に、行動面での指導も、行動指標データに基づいたエビデンスに基づく指導・助言 (介入) を行っていくことは、今後の日本の学校教育においても重要な示唆となるであろう。

最後に、これからの日本の学校教育における

SWPBIS の導入に向けて、日本の“伝統的な”生徒指導からの転換が必要である。District15 における SWPBIS において最も重要なのは教員研修であった。Winston Campus 中学校では、教員それぞれが同じシステム、同じツールを活用するために、毎週金曜日に授業時間を短縮して1時間の研修の時間を設けていた。そこでは SWPBIS について講師を招いての理論や概論の研修だけでなく、学校教職員全員のトークンの使用状況、行動チェックシートの評定基準、教育的ニーズのある生徒の支援策についての討議などが行われていた。このような教職員によるチームとしての取り組みが SWPBIS においては重要であろう。

参考・引用文献

- バーンズ 亀山 静子 (2013) アメリカの学校の現状から臨床心理学 Vol13 (5) pp.614-618 金子書房
- 平澤 紀子・小笠原 恵 (2010) 生活の向上を目指した積極的行動支援の進展と課題 特殊教育学研究 48 (2)
- 平澤 紀子・小笠原 恵・原田 晋吾・福元 康弘・野口 幸弘 (2011) 発達障害児者の行動問題から教育・福祉の充実を目指す PBS (4) : 新たな適応行動をどのようにつくりだすか (自主シンポジウム 32, 日本特殊教育学会第 48 回大会シンポジウム報告) 特殊教育学研究 48 (5)
- 平澤 紀子・小笠原 恵・広野 みゆき・田熊 立・高橋 咲子 (2010) 発達障害児者の行動問題から教育・福祉の充実を目指す PBS (3) : 見えない適応行動をどのように創出し、支援していくのか (自主シンポジウム 30, 日本特殊教育学会第 47 回大会シンポジウム報告) 特殊教育学研究 47 (5)
- Horner, R.H., Sugai, G., Todd, A.W. & Lewis -Palmer, T. (2005) Schoolwide positive behavior support. In L.M. Bambara & L.Kem (Eds.), *individualized supports for students with problem behaviors: Designing positive behavior plans*. Guilford Press, New York
- 石隈 利紀 (1999) 学校心理学—教師・スクールカウンセラー・保護者のチームによる心理教育的援助サービス— 誠信書房
- 小玉 有子・中村 孝・高橋 あつ子・金山 健一・栗原 慎二 (2014) 包括的アプローチの枠組みから見たフィンランドの教育～生徒指導先進地域の実践比較研究～ 弘前医療福祉大学紀要 5 (1)
- 栗原 慎二 (2013) 生徒指導・教育相談・特別支援をデザインする—ピア・サポートを軸とした学校改

- 革—ピア・サポート研究 11
- 文部科学省 (2010) 生徒指導提要
- 長江 綾子・山崎 茜・中村 孝・枝廣 和憲・エリクソン ユキコ・栗原 慎二 (2013) 米国における包括的アプローチに関する一考察—PBIS の視察から— 学校教育実践学研究 Vol.19
- 吉利 宗久・高橋 桐子 (2013) インクルーシブ教育に対する教員養成カリキュラム開発の動向と実際—ハワイ大学マノア校における同時履修プログラムを中心に— 岡山大学教師教育開発センター紀要 3

〔謝辞〕

本稿を整理するにあたって、ご協力をいただきました、Frank C. Whiteley School の中川 優子先生に心より感謝申し上げます。

なお、本研究は JSPS 科研費 26882028 の助成を受けたものです。

表2 Carl Sandburg 中学校で使用されている行動チャート




WILDCAT WAY	Multi-Purpose Room	Halls	Cafeteria	Classroom	Bathroom	School-Wide	Locker Room
Be Respectful 	-Speak in a conversational voice -Use appropriate body and facial language	-Speak in a conversational voice -Use appropriate body and facial language -Remove headwear and put away all electronic devices -Say "Excuse me" -give each other personal space -Keep hallway clean -Keep lockers neat and organized	-Wait your turn in line -Keep hands on your own property -Listen to announcements/directions given by supervisors -Use appropriate facial and body language -Give each other personal space	-Quietly sign in if after bell without excused pass -Quietly and calmly join in class in progress -Honor the rights/opinions of others -Listen attentively -Wait your turn to speak -Use appropriate facial and body language	-Keep bathroom clean -Give others privacy	-Keep hands on your own property -Remove headware and put away all electronic devices -Use appropriate facial and body language -When an adult speaks, stop, look, and listen -Give each other personal space	-Honor privacy and personal space -Speak in a conversational voice -Keep locker room free of trash
Be Responsible 	-Go directly to MPR when you arrive at school	-Carry assignment notebook or pass -Inform a staff member when a conflict occurs or is about to occur -Go to locker at assigned time -Keep moving	-Follow adult directions -Get lunch and go directly to MPR -Stay in assigned seat	-Bring materials and be ready to learn -Participate in a constructive manner -Follow directions -Be in classroom when bell rings	-Check in and out of classroom -Observe time limits	-Pick up litter -Wear appropriate attire	-Wash uniform weekly -Lock up belongings in your own locker -Get dressed quickly, proceed to attendance area, and be seated
Be Safe 	-Stay seated until dismissed	-Walk to the right -Keep hands and feet to self -Be in class when bell rings	-Clean tables and push in chairs -Remain seated until dismissed -Walk to and from cafeteria	-Keep hands and feet to self	-Wash hands with soap and water	-Leave food in cafeteria -Leave aerosol/spray products at home -Push in chairs -Keep hands and feet to self	-No perfume or aerosol cans of any kind -No cell phone use in the locker room -Wash hands after class

表3 MINOR 指導チャート

MINOR BEHAVIORS
SCHOOL-WIDE EXPECTATIONS

Problem Behavior	Teachable Alternative Behavior	Be Respectful	Be Responsible	Be Safe	Proactive Response	Teacher Action/Consequence	Administrative Action/Consequence
Tardy: Student is not in the classroom when the bell rings	Effective use of 3-minute passing period		X		Remind students of the importance of being on time to class (loss of educational time, disrupts other students' learning, etc.)	*Verbal warning to student (Tardies 1-3) *Individual teachers email the team's "Point Person" (Green Team Member) **"Point Person" enters the tardy/tardies into the spreadsheet	*4 th tardy: Call home and lunch detention *5 th tardy: Call home and after school detention
Inappropriate language: Swearing that is not directed at others (sucks)	Use of school-appropriate language	X			Re-teach matrix expectations; teacher models the use of appropriate language; teacher acknowledges the student's use of appropriate language	*Verbal warning and Office Referral filled out *Repeated offense: Continue to fill out referrals, parent phone call, team discusses next steps (i.e., detention, written reflection, Tier 2 support)	*Administration to conference with student and determine the appropriate consequence (relay back to teacher)
Defiance/Disrespect: Repeated refusal to follow instructions	Behaviors and rules are in place for all students to ensure a positive learning experience and environment	X	X		Review individual classroom rules; re-teach matrix expectations and core values	*Verbal warning and Office Referral filled out *Repeated offense: Continue to fill out referrals, parent phone call, team discusses next steps (i.e., detention, written reflection, Tier 2 support)	*Administration to conference with student and determine the appropriate consequence (relay back to teacher) *Possible parental involvement
Disruption: Taking away the educational rights of others; breaking momentum from the learning environment	Refocus or redirect student(s)	X	X		Review individual classroom rules; re-teach matrix expectations and core values; redirect student to on-task behavior	*Verbal warning and Office Referral filled out *Repeated offense: Continue to fill out referrals, parent phone call, team discusses next steps (i.e., detention, written reflection, Tier 2 support)	*Administration to conference with student and determine the appropriate consequence (relay back to teacher) *Possible parental involvement
Property misuse: Drawing on desks, misuse/abuse of texts and novels, P.E. equipment, or technology; cell phone use during the school day	Importance of appropriately using all school property; cell phones are not allowed during the school day	X	X	X	Review with student appropriate use of and respect for school equipment; re-teach matrix expectations in relationship to the area of property misuse (i.e., classroom, MPR, gym, etc.); cell phones should be turned off and left in lockers during the school day	*Office Referral filled out *Student to clean up damaged property *If necessary, student will pay retribution for damaged property *Cell phones are taken (if being used in class) and brought to the office *Parent phone call	*Administration to conference with student and determine the appropriate consequence (relay back to teacher) *Possible parental involvement
Physical contact: Tripping, bocking, shoving, in halls and/or classroom	Hands and feet are kept to self at all times	X		X	Re-teach matrix expectations in relationship to the area of physical contact (i.e., classroom, MPR, gym, etc.); practice walking to the right	*Verbal warning and Office Referral filled out *Repeated offense: Continue to fill out referrals, parent phone call, team discusses next steps (i.e., detention, written reflection, Tier 2 support)	*Administration to conference with student and determine the appropriate consequence (relay back to teacher) *Possible parental involvement *Possible ISS
Dishonesty: Not being truthful or copying work	Truthfulness reflects character; respect others enough to not copy work; own up to the situation	X	X		Re-teach matrix expectations and core values; teacher and/or team examines the individual situation	*Office Referral filled out *0" on assignment *Parent phone call	*Administration to conference with student and determine the appropriate consequence (relay back to teacher) based on severity of the situation *Possible parental involvement
Dress Code Violation: Student does not follow the set school dress code guidelines	Dress appropriately for school; clothes may be distracting to other students and/or the learning process	X	X		Review dress code expectations as outlined in the handbook; student needs to change into other clothes or their gym uniform	*Office Referral filled out *Student changes into other clothes/gym uniform *Repeated offense: Continue to fill out referrals, parent phone call, team discusses next steps (i.e., detention, written reflection, Tier 2 support)	*Administration to conference with student and determine the appropriate consequence (relay back to teacher) based on severity of the situation *Possible parental involvement

表4 MAJOR-level1 指導チャート

MAJOR BEHAVIORS (SEVERE)
SCHOOL-WIDE EXPECTATIONS

<i>Problem Behavior</i>	<i>Teachable Alternative Behavior</i>	<i>Be Respectful</i>	<i>Be Responsible</i>	<i>Be Safe</i>	<i>Proactive Response</i>	<i>Teacher Action/Consequence</i>	<i>Administrative Action/Consequence</i>
Alcohol/Drugs: Use and possession of alcohol and/or drugs (includes cigarettes); possession with intent to sell	Lead a healthy lifestyle	X	X	X	Substance abuse counseling and education	*Immediately call Administration	*TBD by Administration *Police involvement *Suspension *Parent involvement *Administration will relay the decision to the teacher/team
Gang Representation: Symbols, clothing, gestures, pictures, drawings, nails, and/or tattoos that are shown anywhere, anytime, or anyplace	Form positive peer relations; ramifications of a gang lifestyle	X	X	X	Gang awareness education	*Immediately call Administration	*TBD by Administration *Police involvement *Possible suspension *Parent involvement *Administration will relay the decision to the teacher/team
Repeated truancy: Student is repeatedly skipping class and/or missing school without a viable excuse	Attend classes and school regularly	X	X	X	Family, school, and police conferencing	*Immediately call Administration	*TBD by Administration *Parent involvement *Possible referral to the Cook County ROE *Administration will relay the decision to the teacher/team

表5 MEJOR-level2 指導チャート

MAJOR BEHAVIORS
SCHOOL-WIDE EXPECTATIONS

<i>Problem Behavior</i>	<i>Teachable Alternative Behavior</i>	<i>Be Respectful</i>	<i>Be Responsible</i>	<i>Be Safe</i>	<i>Proactive Response</i>	<i>Teacher action/Consequence</i>	<i>Administrative Action/Consequence</i>
Repeated Tardies: 6 th tardy and above	Effective use of 3-minute passing period		X		Conference with student; student writes self-reflection	*Follow tardy intervention flow chart	*Kid Day problem solving *Parent involvement *Possible Intervention Plan
Abusive Language/Gestures: Swearing directed at others; verbal putdowns; racial comments	Use of school-appropriate language; address others appropriately and respectfully	X			Conference with student (in teams) to review matrix, core values, and identify the cause of the repeated behavior	*Office referral filled out	*Administration to conference with student and determine the appropriate consequence (relay to teacher/team) *Parent involvement
Disrespect of Teacher: Intentionally showing verbal and/or non-verbal disrespect to an adult in the school	All adults in the building are to be shown respect	X			Review the way to rethink or readdress a situation in a conversational tone	*Office referral filled out	*Administration to conference with student and determine the appropriate consequence (relay to teacher/team) *Parent involvement
Fighting/Physical Aggression: Student exhibits anger and an intent to harm	Hands and feet are kept to self at all times			X	Attempt to diffuse the physical situation; student(s) brought to the office	*Office referral filled out	*Parent phone call from the office *Police liaison contacted (if necessary) *TBD by administration & police (detention, suspension, arrest, etc.) *Relay decision to teacher/team
Harassment/Bullying: Threats, exclusion, racial comments, gossip, putdowns, intimidation Sexual: Inappropriate words and/or touch	Honor the rights, opinions, and diversity of others	X	X	X	Diffuse the situation; conference with social worker and/or advisor; parent contact; student reflection	*Office referral filled out	*TBD by administration (detention, suspension, police involvement, etc.) *Relay decision to teacher/team
Skipping class/Truancy: Student is not in class after 10 minutes	Attend all classes as expected		X	X	Contact the office after 10 minutes of class has past; parent contact; student reflection	*Office referral filled out *Student is responsible for making up missing assignments	*TBD by administration (detention, suspension, police involvement, etc.) *Relay decision to teacher/team

Current Trends and Practices in School-Wide Positive Behavioral Interventions and Supports
Reflecting on the Practices in an Illinois District15 Public Junior High School

Kazunori EDAHIRO^{*1}, Yasunari MATSUYAMA^{*2}

(Abstracts) In recent years, in guidance counseling or educational consultation, Comprehensive School Counseling and Guidance Approach attracts attention. As part of that, there is School-Wide Positive Behavioral Interventions and Supports ; SWPBIS. However, there are few clinical practice reports which focused on PBIS as School-Wide. In this paper, we focus on the efforts pioneered by the public junior high school (District15) in Illinois in the United States on SWPBIS and provide an overview of current trends and practices. The paper concludes by suggesting materials to consider for developing SWPBIS in Japan.

Keywords: School-Wide Positive Behavioral Interventions and Supports , Comprehensive School Counseling and Guidance Approach , secondary education , guidance counseling , educational consultation

※ 1 Student Support Center, Ooyama University

※ 2 Osaka pref. Neyagawa Higashi Elementary School
